



## 住みよい佐野市をめざして

# 小暮ひろし市議会報告 (第23号)

市議会議員 小暮 博志  
佐野市馬門町1597  
TEL・FAX (23) 8263  
携 帯 090-2679-3021  
kogure-hiroshi.com

### 第23号の 主な記事

- ・ 経済文教常任委員会視察
- ・ 政友みらい行政視察

- ・ 第4回 佐野市定例議会(12月5日～19日)

### 経済文教常任委員会視察(10月15日～17日)

参加者: 左から、青木伸、本郷淳一、鶴見義明、藤倉義雄、高橋功、久保貴洋(副委員長)、小暮博志(委員長)、以上7名



#### ◎ 奈良市「一貫教育の取り組みについて」

奈良市は人口366,600人の中核市で、平成17年から小中一貫教育を実施し、平成23年からパロット校として7中学校と8小学校で一体型2校と分離型5校の小中一貫校を開校。平成27年から21全中学校区と47小学校で小中一貫校を実施予定となっていました。

背景として、小学校から中学校へ進学するにあたり、新しい生活や学習への不安やとまどいを感じる「中1ギャップ」への対応、心身の発達や実態に応じた積極的な対応の推進。

教育課程の特徴として、9年間の連続性、系統性を生かしたカリキュラムの編成や奈良市独自の新設3教科(「なら」科、英会話科、情報科)の実施。

小中一貫教育の成果として、「小学校の授業に、中学生の先生に入っただき、中学生になっても授業に対する不安は少なくなった。精神面においても不安感は和らいだ」といったコメントが多く、英会話科では「英会話の授業のおかげで、リスニングがよくできた」、「英会話は英語で会話してコミュニケーションの輪ができることが分かった。」、情報科では「高校の情報の授業で他校からきた同級生と比較して、パソコンの技術、知識が圧倒的に違う。」が多くあり。課題として、小規模校としての課題、教職

員の移動による引き継ぎの問題、学力向上への取組み等あり。(小中一貫教育の推進は、小規模校の解消のみでなく、一層の教育の向上につながって行くものと、参考になりました。)

#### ◎ 春日井市「産業アクションプランの推進について」

春日井市は人口303,400人の中核市であり、平成26年から一層の地域経済の成長を促すため、産業振興アクションプランを掲げ、「企業誘致」、「事業者支援」、「地域活性」の内容を進めている。

企業誘致の工場や物流拠点の新施・増設には、23の助成金制度を整備し、誘致活動を推進中。

計画推進の中核拠点として、市と商工会議所の持つ企業支援機能を集約し、ワンストップサービスの実現にむけて企業支援の総合窓口化を進めている。(市、商工会議所、金融機関の協力・連携)

### 政友みらい行政視察(10月23日～25日)

参加者: 山菅直己、篠原一世、藤倉義雄、大川圭吾、井川克彦、亀山春夫、斎藤弘、小暮博志以上8名

#### ◎ 八千市「やっちょろ認知症応援ネットワークについて」

八千市は人口132,300で、平成21年度より認知症事業に取り組んでおり、今回、応援マップを更新。

認知症高齢者等の見守り等に協力していただける店舗・事業所、医療機関、公共機関等455カ所を、市内の20校区に配置して、早期発見・安全確保、見守り機能の向上を図っている。

#### ◎ 糸島市「保育所の民営化について」

糸島市は人口98,400で、認可保育所としては、2公設公営・1公設民営・12民設民営となっている。(佐野市は、15公設・7民設)

平成27年度より公立保育園3園を民営化する方針である。その理由は、財政的メリットが大きいこと、設置整備事業で市の負担が少ないこと、保育サービスの向上が期待できる。

3公立保育園の民営化を計画中であり、財政的メリットとして約66百万円を予測。(参考になる動きでした。)

## 第4回 佐野市定例議会(12月5日～19日)

今回の第4回定例議会では、(1)から(3)の議案等が提出されました。

- (1) 報告・条例の改正等 12件  
 (2) 各種施設の指定管理者の指定 12件  
 (3) 補正予算 13件  
 (4) 一般質問 (質問者16名) (5) 陳情 4件

### (1) 報告・条例の改正等 12件

- ・ 市長、副市長及び教育長並びに議員の期末手当が改正され、年間0.15月(5.1%)引上げが可決。
- ・ 人事院の勧告に伴う、一般職の期末手当を年間0.15月引上げ、給与表を0.3%引上げ等が可決。
- ・ 佐野市立吾妻中学校を、平成28年4月1日より佐野市立西中学校に統合する条例が可決。
- ・ 追加議案として消防本部庁舎建設工事費、7億2,684万円が可決。

6業者が入札に参加し、篠崎・青木特定建設工事共同企業体が落札。落札率は99.96%。尚、この入札は、前回より予定価格を3,593万円(5.2%)上げての入札でした。

### (2) 各種施設の指定管理者の指定 5件

次の12議案の指定管理者が可決されました。指定管理料の高い、佐野市の5施設を次に示します。

- (1) 茂呂山老人福祉センター (168,213千円/年,3年)  
 (2) 田之入老人福祉センター (112,436千円/年,3年)  
 (3) 葛生あくど福祉センター等 (51,633千円/年,3年)  
 (4) 遠原の里福祉センター (40,823千円/年,3年)  
 (5) 根古屋森林公園 (32,164千円/年,3年)

尚、道の駅どまんなかたぬまの指定管理料については、収益がある施設であり、ゼロとなっている。

### (3) 補正予算 13件

平成25年度佐野市一般会計補正予算(8号)の補正額は約3.3億円増で、予算額539億円の約0.6%増でした。

0.1億円以上の補正として、人件費約0.77億円、源泉所得税適正化事業費約0.36億円、障がい児童通所給付事業費約0.28億円。

特別会計と企業会計の補正がありましたが、合計で約0.1億円と微増でした。

☆☆☆☆☆☆☆☆



#### ●新庁舎建設中

- ・完成予定日(70日延長)
- ・建設費の増はナシ

(撮影日:12月12日)



### (4) 一般質問 \*\* 小暮ひろし \*\*

#### ①さの健康21プラン(第2期計画)について

佐野市の健康寿命は県内26市町村の中で、男性21位、女性23位と短い。標準死亡率をみると脳血管疾患が多く、全国平均より男女とも37.3%、46.2%と高い。

生活習慣の改善として、厚生労働省の予防法からみると、運動、肥満、たばこ、大量飲酒、減塩、ストレスや急激な温度差、食事等が考えられる。

健康寿命を延ばすための、重点活動を質問。

**(答弁)** 疾病予防、疾病の早期発見、各種健康診査や保健指導の充実を図っていく。また、「さの健康21プラン」の検証を毎年度行って推進する。特に、栄養指導として天然だし使用による味噌汁の減塩指導、血栓予防として玉ねぎ等の野菜をとる指導、食生活習慣改善として料理の塩分測定の実施等を検討している。

#### ②小中一貫教育について

佐野市では、葛生地区、田沼西地区や赤見地区で、平成32年から小中学校適正規模・適正配置基本計画の中で施設一体型小中一貫教育を進めようとしている。

小中一貫教育の利点として、「中一ギャップ」の生徒指導上成果、学習指導上の成果や特色ある教育の成果等が出ています。

そこで、佐野市での施設分離型小中一貫教育の実施について、どのように考えているかを質問。

**(答弁)** 現在、施設分離型小中一貫教育を推進しているが、その型の違いによって、教育の効果に差が出ないように更に研究していく。

### (5) 陳情 4件

(採 択) ・「農協改革の検討に関する陳情」

(継続審査) ・「労働者保護ルールの順守を求める意見書」の採択を求める陳情

(不 採 択) ・集団的自衛権行使容認する閣議決定の撤回を求める陳情

(不 採 択) ・集団的自衛権行使容認に反対する国への意見書提出を求める陳情